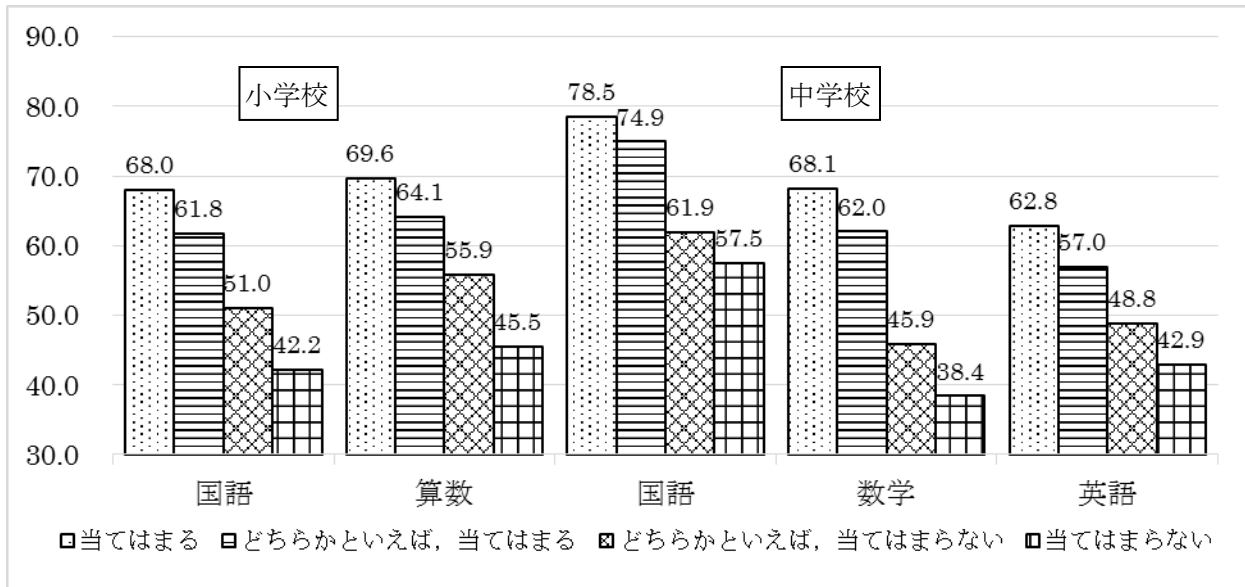


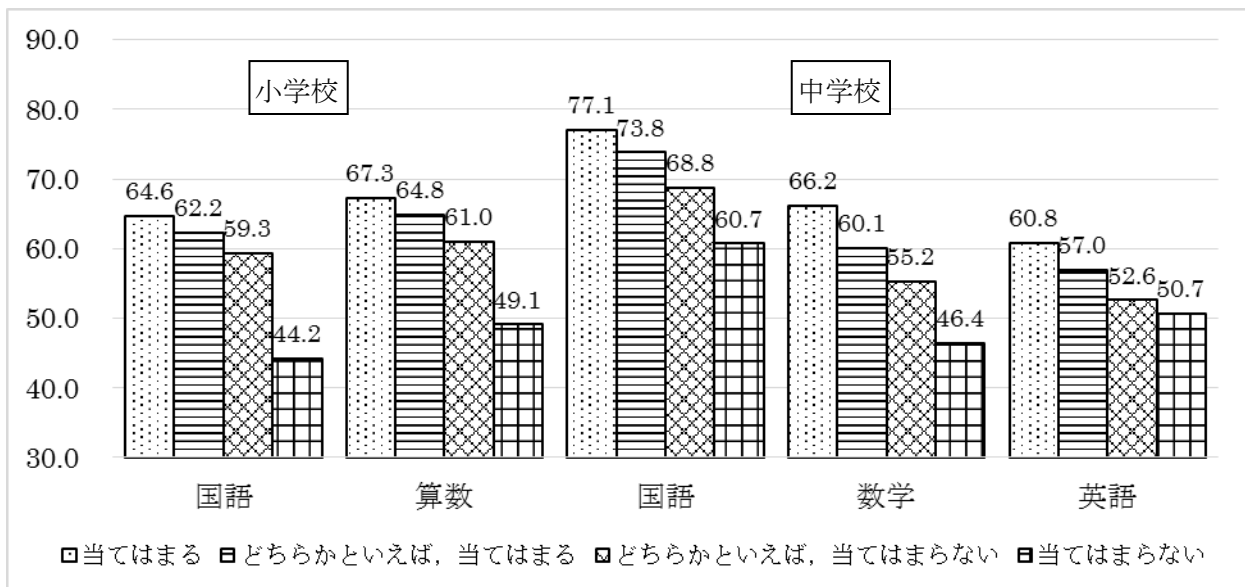
## 質問紙調査について

Q 「5年生（中学2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問に、回答した選択肢別の平均正答率



主体的に取り組んだと回答している子の方が正答率が高い

Q 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問に、回答した選択肢別の平均正答率

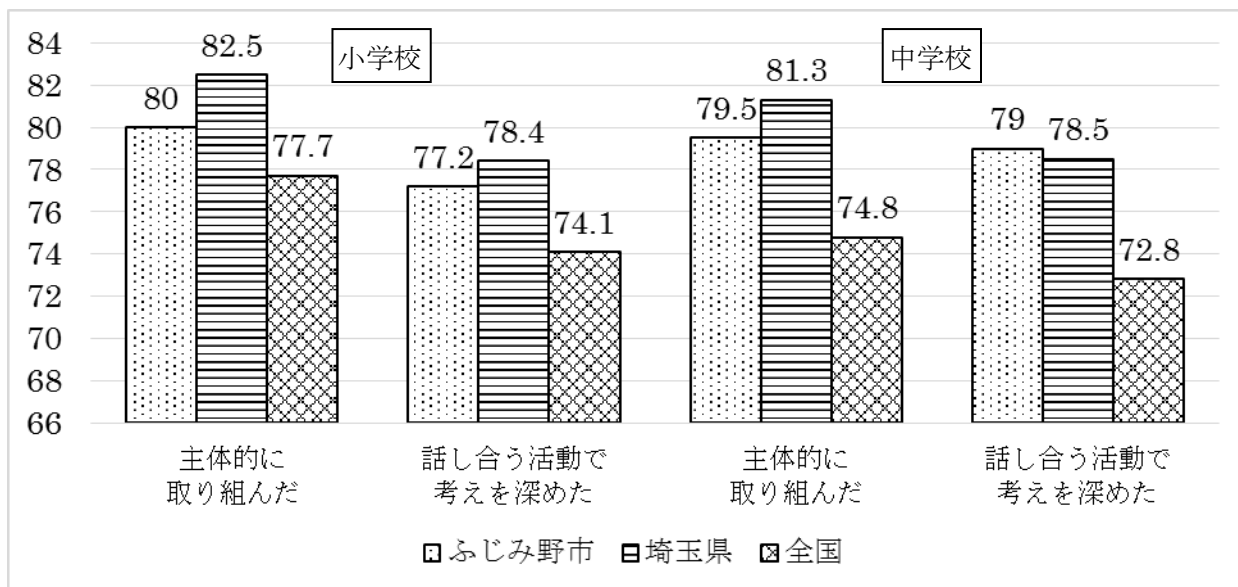


対話的に取り組んだと回答している子の方が正答率が高い

Q 「5年生（中学2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」（主体的な視点）

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」（対話的な視点）

→ あてはまる・どちらかといえばあてはまると答えた児童の割合



主体的・対話的で深い学びの視点での授業展開を更に推進する必要がある

今後の指導にあたって

小学校、中学校とも学力向上に向けて、見通しを示したり学んだことを次につなげたりするなど主体的な学びの実践が求められます。また、自分の考えをもたせた上で、話し合う目的を明確にして話し合い、考えを深める授業展開を行うなど対話的で深い学びの実践も求められます。

各校で、どうすれば主体的・対話的で深い学びとなるのかを子どもの実態に合わせて検討し、児童生徒が伸びを実感できるような授業を展開することが学力の向上につながります。